

請求の範囲

- [請求項1] 鋼板と、前記鋼板の表面に形成された溶融めっき層と、を備え、
前記溶融めっき層は、平均組成で、Al : 2 ~ 22 質量%、Mg : 0.1 ~ 10 質量%を含有し、残部がZnおよび不純物を含み、
前記溶融めっき層の表面から一辺が5 mmの正方形の測定領域を5箇所選定し、下記の測定方法によって各測定領域の強度比率Aをそれぞれ求めた場合に、5箇所の測定領域の強度比率Aの平均値 A_{ave} に対する各測定領域の強度比率Aの比 (A / A_{ave}) が、0.70以上1.40未満の範囲であり、
前記測定方法は、各測定領域を50ピクセル×50ピクセルのサイズのグレースケールの256階調画像データとして抽出し、前記256階調画像データに対して二次元離散フーリエ変換を行って空間周波数の振幅スペクトル像を得て、得られた前記振幅スペクトル像において、空間周波数1 ~ 25の強度和 S_{25} と、空間周波数1 ~ 5の強度和 S_5 を算出し、強度和 S_{25} に対する強度和 S_5 の比率 (S_5 / S_{25}) を強度比率Aとする方法であることを特徴とする溶融めっき鋼板。
- [請求項2] 前記溶融めっき層が、平均組成で、Al : 4 ~ 22 質量%、Mg : 1 ~ 10 質量%を含有することを特徴とする請求項1に記載の溶融めっき鋼板。
- [請求項3] 前記溶融めっき層が、更に、平均組成で、Si : 0.0001 ~ 2 質量%を含有することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の溶融めっき鋼板。
- [請求項4] 前記溶融めっき層が、更に、平均組成で、Ni、Ti、Zr、Srのいずれか1種または2種以上を、合計で0.0001 ~ 2 質量%含有することを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の溶融めっき鋼板。
- [請求項5] 前記溶融めっき層が、更に、平均組成で、Fe、Sb、Pb、Sn

、Ca、Co、Mn、P、B、Bi、Cr、Sc、Y、REM、Hf
のいずれか1種または2種以上を、合計で0.0001～2質量%含
有することを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか一項に記載
の溶融めっき鋼板。

[請求項6] 前記溶融めっき層の付着量が前記鋼板両面合計で30～600g/
m²であることを特徴とする請求項1乃至請求項5のいずれか一項に
記載の溶融めっき鋼板。